

## 平成20年5月の地震活動及び火山活動について

### [地震活動]

5月8日に茨城県沖でM7.0の地震が発生し、茨城県水戸市及び栃木県茂木町で震度5弱を観測しました。この地震に伴い、福島県と宮城県の沿岸で微弱な津波を観測しました。国土地理院のGPS観測結果では、茨城県を中心とする地域でこの地震によるわずかな地殻変動が観測されています。

全国で震度1以上が観測された地震の回数は151回、日本及びその周辺におけるM4以上の地震の回数は129回でした。

震度3以上を観測するなどの主な地震活動の概況は別紙1のとおりです。また、世界の主な地震は別紙2のとおりです。

### [火山活動]

桜島では、昭和火口で爆発的噴火が時々発生し、弾道を描いて飛散する大きな噴石が最大6合目（昭和火口からの水平距離は概ね350～500m）まで達しました。火砕流は発生していません。火山活動は活発な状態が続いていますが、その影響の及ぶ範囲は限られています。20日に海上自衛隊鹿屋航空分遣隊の協力を得て行った上空からの観測で、昭和火口及び南岳山頂火口の火口底の温度が高い状態であることを確認しました。このことから今後も火山活動の活発な状態が続くものと考えられ、昭和火口及び南岳山頂火口から2km程度の範囲で弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要であることから、火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）を引き続き発表しています。なお、南岳山頂火口では20日に爆発的噴火が発生しました。南岳山頂火口での爆発的噴火は2008年1月7日以来です。

三宅島では、8日08時32分に、山頂火口でごく小規模な噴火が発生しました。その他の火山の活動状況に特段の変化はありません。

### [その他]

6月9日10時より有珠山に噴火警戒レベルを導入することとしております。

日本の主な火山活動の概況は別紙3のとおりです。また、世界の主な火山活動は別紙4のとおりです。

注1：噴火警戒レベルには、レベル毎に防災機関等の行動がキーワードとして示されており、導入にあたっては、噴火警戒レベルの活用が地域防災計画等に定められることが条件となります。

注2：国土地理院のGPSによる地殻変動観測については、国土地理院ホームページの記者発表資料「平成20年4月～5月の地殻変動について」を参照願います。

<http://www.gsi.go.jp/WNEW/PRESS-RELEASE/2008/goudou0606.html>

注3：気象庁の地震活動資料には、防災科学技術研究所や大学等関係機関のデータも使われています。

注4：地震活動及び火山活動の詳細については、地震・火山月報(防災編)平成20年5月号(平成20年6月末頃に刊行及び気象庁ホームページ掲載予定)をご覧ください。

注5：平成20年6月の地震活動及び火山活動については、平成20年7月9日に発表の予定です。